

授業科目名	社会福祉(2100611)		
時間割名	社会福祉(54104)		
時間割担当	岩本健一		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	金・4		

授業の目標・概要

- ・社会福祉は、「福祉」を、ふ・ふだんの、く・くらしの、し・しあわせ、幸せな状態と捉える目標概念と、多様な何らかの問題を解決するための方策や技術と捉える実体概念がある。そして、「福祉」を実現するための取り組みとその方法として「福祉政策」さらに「福祉制度」がある。我が国においては、一般的に「社会保障制度」がこれらにあたる。授業では、「社会保障制度」の多種多様な各分野を活用する利用者の置かれている現状と課題は何か、現実的な解決策や施策のあり方を検証、紹介していく。
- ・保育士を目指す学生には、社会福祉の一分野としての児童家庭福祉を再認識し、特に昨今、問題となっている児童の人権擁護さらに家庭支援についてのあり方等についても考察を深める授業とする。

学習の到達目標

- ・社会福祉は、人間の生活の基本にかかわる学問である。社会福祉を学ぶ最初の第一歩は、人と社会のつながりについて考えることである。さらに、社会福祉は実践の学問であり、「学び」を通じて、今後の自分の実践の基軸となる福祉観・援助観を持つことを目標とする。
- ・社会福祉の概念やノーマライゼーション等基本的理念・視点を理解できる。
- ・社会福祉に関する法体系、制度、実施体制等について基本的知識が理解できる。
- ・各福祉分野の現状や課題についての基本的知識が理解できる。
- ・社会福祉の今後の動向について理解できる。

授業方法・形式

- ・基本的に、教科書を有効に活用できる講義形式を主とする。
- ・適宜、DVD、パワーポイントや別途配布資料を活用する時もある。
- ・授業内容に応じて、グループワークやロールプレイを実施する。
- ・予習状況を確認する目的で、学生を指名する形式も行う。

授業計画

- 第1回 ガイダンス
- 第2回 社会福祉の意義と歴史の変遷
- 第3回 社会福祉の制度と法体系
- 第4回 社会福祉行財政と実施機関
- 第5回 社会福祉施設等
- 第6回 社会福祉の専門職・実施者
- 第7回 社会保障および関連制度の概要
- 第8回 相談援助の意義と原則
- 第9回 相談援助の方法と技術
- 第10回 社会福祉における利用者の保護にかかわる仕組み
- 第11回 少子高齢社会への対応
- 第12回 社会福祉の一分野としての児童家庭福祉
- 第13回 児童の人権擁護、家庭支援と社会福祉
- 第14回 地域福祉の推進とネットワーク、社会福祉の諸外国の動向
- 第15回 まとめ 授業内テスト

成績評価の基準

テスト60%、レポート・平常点40%

準備学習・復習及び授

毎回授業の最後にレポートを課すので、提出期限内に必ず提出すること。提出期限を過ぎると受理しない。

履修上のアドバイス及

社会福祉に関するニュース、新聞記事に関心を持ち、授業内容に関する質疑を積極的に行うこと。

教材・教科書

福沢公一・岩崎普也『社会福祉をつかむ 改訂版』有斐閣(2014.10)

参考書

必要あれば指示する。